

< N P O法人等の非農家等との連携を実施している事例 >

## 高校との連携による自然生態系の保全活動

### 1．集落協定の概要

市町村・協定名	長野県佐久市 十二新田			
協 定 面 積 19.5ha	田 (100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交 付 金 額 385万円	個人配分			30%
	共同取組活動 (70%)	水路、農道等の維持管理に係る活動		37%
		関係諸団体の参加協力活動		5%
		集落の共同取組として行なう活動		28%
協 定 参 加 者	農業者 77人			

### 2．取組に至る経緯

十二新田は佐久市の西部に位置し、東洋一大きなパラボラアンテナ(宇宙空間観測所)の麓で、豊かな森と清流に恵まれた田園地帯です。

しかし時代の流れとともに担い手の減少と高齢化が進み、農地の耕作放棄が心配されるようになったため、自然豊かな十二新田の優良農地の確保と保全を目的として協定を締結し事業に取り組むようになりました。

### 3．取組の内容

十二新田では農道、水路の維持管理活動はもとより、鳥獣害防止対策として農団地を囲む総延長3.1kmにも及ぶ電気柵を設置しました。また、景観形成活動として団地の中心を通る農道をアイリス街道と位置づけ公民館、PTAとも連携して法面にアイリスやアヤメを植栽し毎年手入れをしています。

さらに、自然生態系の保全活動として、地元臼田高校の生徒による、農団地の水源である地蔵池(湧き水)に生息している県の絶滅危惧種指定の浮き草「アゾラ」の保護活動と農業利用への調査研究に、参加協力しています。この活動が実を結び、このたび臼田高校生の研究が第十回日本水大賞の農林水産大臣賞を受賞しました。



アイリスの植栽



鳥獣害防止電気柵



農林水産大臣賞授賞式

[ 集落の将来像 ]

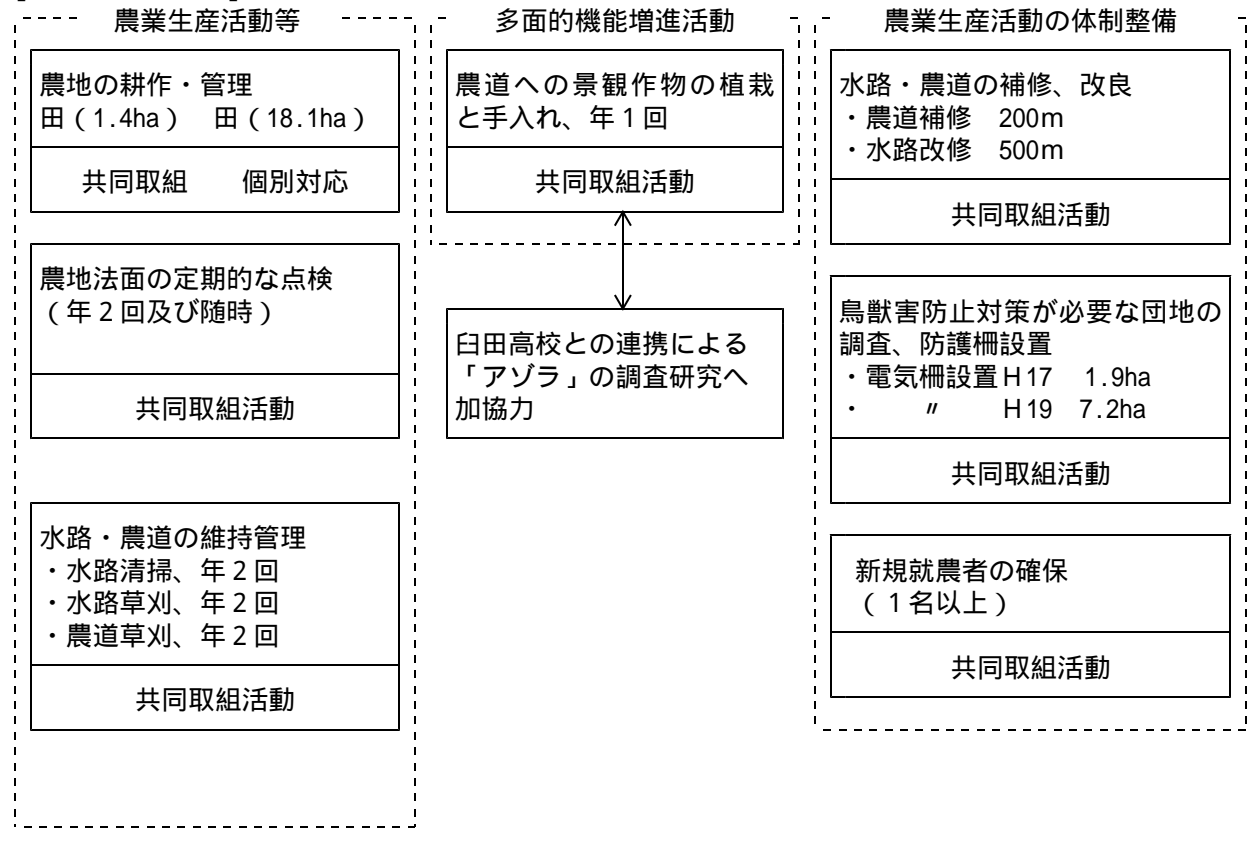
安定した生産の確保のために、水路・農道等の整備を行うとともに新規就農者の参加推進を図り、ゆとりのある景観豊かな営農に取り組む。



[ 将来像を実現するための活動目標 ]

生産基盤の整備補修、景観形成活動を行い、ゆとりある農作業の継続を目指す。

[ 活 動 内 容 ]



集落外との連携

地元の白田高校と連携して、生徒による「アゾラ」の調査に田を提供している。また、年に2回の水路清掃時には高校生も参加し、十二新田の文化祭では研究発表を行なっている。

#### 4. 取組による変化と今後の課題等

白田高校との交流により集落の活性化が図られました。また、電気柵の設置により鳥獣被害が減少し、農家の農業への意欲が向上しました。今後も優良農地の確保と農業生産の継続のために、豊かな自然を活かした取組を行なっていきたいと考えています。

[ 平成20年度までの主な成果 ]

- 共同作業機械(バックホウ)1台購入 H20年
- 新規就農者の確保 H18年1名
- 農道の環境美化活動により、ポイ捨ての空き缶、ペットボトル等のゴミが減少した。
- 十二新田の行事への白田高校生の参加(春、秋の水路清掃、文化祭等)